

タイトル～<今回は【豊丸】か？…【CRカツ井】から学ぶ「損益分岐点」の計算方法>

■「CRカツ井」に対するメーカー批判って…何なのだろう？

何やら最近、リリース遊技に対する「メーカーバッシング(不安)」を耳にしますが、『なんでそうってしまったの？』との疑問が湧いてきている私です。別に「メーカー擁護」をする訳ではありませんが、例えば【CRカツ井の初動4日間のマイナス台粗利】は、本当に「メーカー責任だけの問題」なのでしょうか？

そもそも、ホールさんは『導入機種のスぺックを把握していたのでしょうか？』と言う疑問さえ感じてしまうこの頃です。まさか、『役物系機種が人気の様だから、とりあえず新台入替してみよう』…とかの感覚で導入したのでしょうか？

まあそれはさておき、何度も触れているつもりですが、あらためて【損益分岐点の計算方法】を再確認してみましょう。

■必ずメーカーに聞いてください！確認してください！【TY値】を！

最初に、『ホールさんにお尋ねします』

遊技機を試打・購入契約・店舗導入する際に…『メーカーさんに【TY値】を確認していますか？』

まさか、『出玉はいくつなん？』⇒『2,000個ですよ』…なんて話で終わっていないですよ？(汗
パチンコ機の全ての起点は…「T1Y」でも無く、「継続率」でも無く、「リーチ演出」でも無く、【TY値】なのですから。

『教えてくれないメーカーが悪い』なんて、どれだけ過保護なのですか？そんな言い訳はビジネスでは通用しません。最後には、『聞かなかった方が愚か者』の称号を得てしまう事になりますから、それだけは避けたいところですね(汗
無論、『そんな事、知ってるワイ！』と言われる方も多いことは承知していますけど…

■「損益分岐点計算」の概念は…単純に【TY値】だけ。

それでは、【損益分岐点の計算】について、再確認してみましょう。

コレには、高価なシミュレーション機能は全く必要ありません。スマホの電卓で十分ですよ(笑)

まず、「答えの結果」には、<千円スタート値>と<有効スタート値>がありますが、当コラムでは、それぞれにおいての計算を、今回は噂の【CRカツ井】を一例にして計算してみましょう。

■最初に【2つのスぺックの確認】だけ。

「CRカツ井」のスぺックは…「特賞確率(役物確率)=1/9」・「TY=4,100個」となります。この確認だけでOK。

(※役物確率は、メーカー発表値。TY値(特賞差玉)は、<サン電子・TRYSEMデータ>から引用)

■次に【TY値×賞品交換玉数】=4パチでの【景品金額】を計算。

・【25玉交換】であれば……「4,100個×1玉=4,000円」=16,400円

・【27.5玉交換】であれば…「4,100個×1玉=3,636円」=14,909円

・【28玉交換】であれば……「4,100個×1玉=3,571円」=14,643円

■次に【確率分母÷千円単位数】を計算。

景品金額を「概ね15,000円」とした場合、1回の特賞で得られる金額が15,000円ですから、お客様は『その金額で特賞確率分母回数を回す(=損益分岐点)』と言う事になります。つまり「CRカツ井」の場合は、『15,000円で9回入賞する』と言う事になります。そこで、その【千円スタート値】を計算します。

⇒「確率分母=9」÷「15(千円)」=0.6回…つまり、【千円スタート値】は「0.6回」となります。

・【25玉交換】であれば……9÷16.40(千円) = 約0.563回

・【27.5玉交換】であれば……9÷14.91(千円) = 約0.604回

・【28玉交換】であれば……9÷14.64(千円) = 約0.615回

(※1パチ等でも、損益分岐割数が同じであれば、同様の結果になります。)

■次に【千円スタート値】を【有効スタート値(/100発単位数)】に変換。

上記の【千円スタート値=0.6回】を引用して計算してみます。

⇒(※ココでは「千円貸しの玉数=250玉」の前提。貸玉が異なる場合は、その玉数で計算してください)

さて、ここからは、【通常ベース値】が影響します。「千円=250玉」の玉数は、「ベース値=0の状態(たまたま、どこにも入賞しなかった場合)」であれば、「250発打つ=2分30秒で終了」となりますが、現実には『ベース値の変化で、打てる所要時間が変わる』事になります。

そして、それを『1分(=100発)の打込み単位として表示する』のが【有効スタート値】となります。

●では最初に、【千円=250玉】の所要打ち込み時間を計算します。

・【ベース値=25%】時…250玉÷(1-0.25)=333.33玉⇒約3.33分

・【ベース値=30%】時…250玉÷(1-0.30)=357.14玉⇒約3.57分

・【ベース値=35%】時…250玉÷(1-0.25)=384.62玉⇒約3.85分

●次に、【千円スタート値=0.6回】の場合で、【有効スタート値】計算してみます。

これには、『千円貸し=250玉で何分打ったか?』が重要で、それにより『1分(=100発)単位として計算』します。

(※「0.6回」引用の数値は、上記【確率分母÷千円単位数】の「0.563回~0.615回」を代入してください)

・【ベース値=25%】時…「千円消費=3.33分」で0.6回入賞⇒0.6回÷3.33分=有効S⇒【0.180回】

・【ベース値=30%】時…「千円消費=3.57分」で0.6回入賞⇒0.6回÷3.57分=有効S⇒【0.168回】

・【ベース値=35%】時…「千円消費=3.85分」で0.6回入賞⇒0.6回÷3.85分=有効S⇒【0.155回】

…この、それぞれの数値が、【損益分岐点の有効スタート値】となります。これで計算は終了です。

メーカーから得るべき情報は…「特賞確率」と「平均TY値」だけ。

ホールの管理情報としては…「賞品交換玉数」と「想定ベース値」だけ。

それだけ分かれば、【2つの損益分岐点】は、簡単に電卓レベルで計算できます。

これは、『通常のセブン機の場合でも同じ』です。「特賞確率=1/309」であれば、上記【確率分母÷千円単位数】の「9」を「319」に換えれば良いだけですから、一度チャレンジしてみてください。

ちなみに、通常のミドルセブン機(特賞確率=1/300~319)の場合、TY値は概ね「平均3,400個~3,800個」に設計されている現状です。(無論、BA値(潜伏含む)の玉減り影響も加味されています)

■ <TY値について>

これで、『【TY値】と言う数値がどれだけ重要か?』をお分かり頂けたかと思います。ちなみに「平均TY=T1Y×平均継続回数」でも表せますが、「確変ベース値」の玉減り率の計算もありますので、そのあたりも含めた【(例えばBA=90%時の)平均TY値】とかで聞きちゃった方が早いですね。(笑)

ホールさんの「遊技機購入」において、様々な「数値の確認」はされていると思います。しかし最近、『平均TY値の情報がないがしろにしている?』様な雰囲気もうかがえます。これは、シミュレーションツールがある事で、『TY値は結果論』であって目に入らず、『それよりも粗利額のシミュレーション結果が数値優先』の傾向によるものと思われます。

…しかし、良く考えてみて下さい。

お客様は、『お金を投資して、それに見合う出玉を望んでいる』のです。そしてその出玉とは『初当りした後の、TY値である』事を再度思い出して欲しいと思います。無論「1回の特賞出玉や継続率」も重要かもしれませんが、結局それは「それぞれ遊技機特徴」であり、出玉獲得(TY値の出玉獲得)までのプロセスに過ぎません。

「CRカツ井」の様な一撃出玉系も、「海物語」の様な確変機も、「転落抽選系」も「小当りRUSH系」も、所詮【出玉獲得までのプロセス違い】過ぎません。

「カイジ4の小当りが・・・」に始まり、「カツ井のスタート値が・・・」に移り、「北斗が辛すぎる・・・」とか、「冬ソナの粹役物でランプ表示が見えない・・・」とか、【導入して稼働してからの結果論】を声高々に叫んでも、その遊技機を打つ為に来店してくれたお客様には全く関係ありません(汗)

【ホールさんの遊技機依存】の傾向は、ある程度承知はしていますが、如何せん、ホールさんの【遊技機の活用と運用の画一化】は、ファンである打ち手顧客は満足しているでしょうか?

また、実際の営業では、「特賞確率」・「平均TY値」が『上下にぶれる』事は当然の事。それにより『遊技機の粗利は大きく変わる』事になります。更に、打ち手の技量による「スタート入賞値(=S1)」・「有効スタート値(=S)」に加え、「通常ベース値(=B)」・「甘ベース値(=BA)も変化する事でしょう。

もう一度、『今日の粗利の理由は、【TS】と【TY】の結果』と言う原点を見つめ直しても良いのかもしれませんがね。

<追伸>

まさか次に、『ウルトラセブン2の小当りが・・・』とか、『大海4BLACKの4個保留が・・・』とか、『綱取物語の時短継続率が・・・』とか、『ダイナマイトキングの時短回数が・・・』とか、『リングの小当りスピードが・・・』と、諸々のクレーム! ? とか、言われ無いっすよねあ～・・・最近、ちょっと不安になる今日この頃の私です(汗)

<このコラムは、フリーコンテンツに該当しております。情報共有可としますが、転載・改ざん等はお控えください>
<また、文章・資料等の所有権は、「有限会社トータル・ノウ・コネクションズ」に帰属いたします>

TKC～【法人セミナー】のご案内

「TK高橋の千里眼セミナー」ですが、基本的に「単一法人様での勉強会」となります。

各法人様の意向を踏まえ、内容はカスタマイズさせていただきます。

※組合様等の場合、内容にて摺り合せが必要な場合がございますので、ご相談させていただきます。

<日 時>:ご依頼会社様の希望とのご相談の上、決定させていただきます

<場 所>:ご依頼会社様にて、手配をお願い致します。

※関西エリアにおいては「大阪元町・スリーストーン大阪営業所」開催は可能(概ね15名まで)

<時 間>:「1日＝4～5時間」が基本となります。(休憩含む拘束時間です)

<費 用>:基本価格～「1開催＝15万円」となります。(※只今、「TKC会員様＝10万円」となります)

<内 容>:ご依頼会社様とのご相談の上決定させていただきます。

※基本的に、「業界情報」・「パチンコ運用」・「店舗全体運営」の内容が中心となります。

※「業界動向セミナー」は、随時必要なタイミングにての開催を推奨いたします。

※「パチンコ運用セミナー」は、2回～3回(月1回)の連続開催を推奨いたします。

<その他>:交通費(長野県長野市から)・宿泊費は別途請求となりますのでご了承くださいませ。

～<セミナーのカスタマイズ>について～

⇒【勉強会開催において、多岐に渡るセミナー内容を同時開催したい場合】等。

弊社内容の他、「スロット運用」・「マーケティング情報」等々、内容のご希望がありましたらご相談下さい。

同日(または別日)、別コンテンツの専門的講師の推薦紹介させて頂き、同時(別日)開催となります。

(※この場合、別途講師費用と諸経費が加算されますので、ご了承くださいませ)

<お問い合わせ>

弊社代表「高橋正人」まで、ご連絡下さいませ。

【メールアドレス】:info@tkc-g.jp

【電話連絡】:(会社)026-256-9677 (携帯)090-3063-1757

有限会社 トータル・ノウ・コネクションズ

住所:長野県長野市南堀530-5

TEL:026-256-9677 FAX:026-256-9688

ホームページ <http://www.tkc-g.jp>

メールアドレス info@tkc-g.jp
